

第63回 全日本学生選手権 チーム・ロード・タイムトライアル大会

2025年 11月8日(土) 11:30 競技開始 (63.2km)

第10回 全日本学生選手権 個人ロードタイムトライアル自転車競技大会

2025年 11月9日(日) 9:30 競技開始 (男子31.2km・女子25.2km)

埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷特設コース
発着点:旧おとね童謡のふる里室前



主催：日本学生自転車競技連盟

共催：公益財団法人日本自転車競技連盟

後援：国土交通省 利根川上流河川事務所
羽生市教育委員会

協賛：公益社団法人全国競輪施行者協議会

井上ゴム工業株式会社

株式会社パールイズミ

大会当番校：中央大学・東北学院大学

一般社団法人埼玉県自転車競技連盟
加須市 羽生市

一般社団法人日本競輪選手会

株式会社JPF



夢に、
挑め

自転車競技に熱中する君へ



奨学金制度

第2期生 募集

応募期間 2025年8月26日（火）正午12:00 ～ 2025年12月5日（金）正午12:00

- 応募対象
1. 2026年4月1日時点で大学に在籍予定の方
 2. スポーツと学業の両立に真剣に取り組んでいること
 3. 自転車競技に高い意欲を持ち、継続的に競技に参加していること
 4. 英語能力が高く、学業成績が優秀であること
 5. 将来のキャリアとして、自転車業界に携わりたいという意思を有していること

詳しくは 株式会社 JPF ホームページ [https://www.jpfc.co.jp/jpfnews/scholarship_2/] ▶



ご挨拶



日本学生自転車競技連盟
会長 村岡 功

第63回全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会と、第10回全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会が、埼玉県利根川上流河川敷コースにおいて、多くの皆様をお迎えして開催できますことは、誠に喜ばしいことであります。

1964年の東京オリンピックでは、八王子周辺を舞台にハイスピードな競走がみられたチームロードも、オリンピックや世界選手権において一時期正式種目として行われなくなりました。しかし、2012年の世界選手権から正式種目として復活し、史上初のアフリカ大陸開催となった今年のルワンダでの世界選手権ロードレース大会においては、男子女子が交互にスタートして合計タイムを競うミックスチームタイムトライアルが実施されています。個人競技のイメージが強い自転車競技において、チーム・ロード・タイムトライアルはチームとしての団結力、チームワークが順位として結果に表れる団体種目です。4人の選手が個々の特性や脚質を存分に発揮し、どのような展開で走り切るか、頭脳を駆使した戦いとゴールタイムが感動を呼ぶ種目と言えます。

個人ロードタイムトライアル種目は、選手個々人の素の力量が表現される種目として近年改めて注目されるようになってきています。スタート後は独走となるため、選手自らがペース配分を考え、効率良く自らの走力を出し切るかが問われます。体力面とともに一人で走り切る強い精神力も必要となります。まさに心技体が成績に反映されます。このコースはほぼフラットで一見走りやすくも見えますが、風の影響を受けやすいためにペース配分を考えることや、少しでも路面抵抗を抑え、パンクのリスクを低減した走りを行うことも作戦のひとつとなります。学生選手としてルールを順守し正々堂々と己の走りを追求して、自身の走りに磨きをかけることを期待します。

本大会は例年、6月に開催されていましたが、本年は国際大会や全日本選手権等の大会日程が6月に集中し、秋に日程を変更して開催することとなりました。本大会は以前、秋開催であった時期もありますが、久しぶりの日程変更ですので選手の皆様には体調管理に万全を期して参加いただきたいと思います。近年、このようなチーム・ロード、個人ロードタイムトライアルを開催できる場所・コースは限られてきています。首都圏からも近い利根川上流河川敷のコースは最も適したコースであり、日常の鍛錬の成果を測定評価する場として、また将来世界に向けて挑戦する礎として力を発揮できる場所となっています。

最後に、本大会の開催に当たり、多大なご支援・ご協力を賜りました、埼玉県加須市および羽生市の関係諸機関、さらには国土交通省利根川上流河川事務所をはじめとする利根川を管理する関係諸機関のご理解とご協力に対し、ここに改めて心から感謝を申し上げます。また、協賛・後援・ご協力をいただきました公益財団法人日本自転車競技連盟、一般社団法人埼玉県自転車競技連盟、ならびに各ご協賛企業関係者各位、運営のためにご参集くださった当番校の中央大学と東北学院大学、競技役員、参加各大学関係者、OB、OGの皆様に対し深甚なる感謝を申し上げ、ご挨拶いたします。

大会関係団体役員

主催	日本学生自転車競技連盟 会長 副会長 顧問 理事長 専務理事 総務企画委員会委員長 総務委員会委員長 審判委員会委員長 強化普及委員会委員長 広報委員会委員長 医事・安全委員会委員長 常務理事	岡関本倉田賀川宅田賀賀沢井 村井岡松武古森三古古古西石	功正作裕彰文之郎拓文文義洋 康雄信 岳和秀一雅岳岳倭	佐々木 一也	三宅秀一郎 玉木伸雄 窪 翼	森川 和之 古川 利勝
共催	公益財団法人 日本自転車競技連盟 一般社団法人 埼玉県自転車競技連盟			会長 会長 理事長	橋本 聖子 古川 俊治 横 孝夫	
後援	国土交通省 利根川上流河川事務所 加須市 羽生市 羽生市教育委員会					
協賛	公益社団法人全国競輪施行者協議会 井上ゴム工業株式会社			一般社団法人日本競輪選手会 株式会社パールイズミ	株式会社 JPF	(順不同)

競技役員 無印は両日参加、(8日)(9日)は当日のみ参加 / 立哨員を除く

競技運営委員長	松倉 信裕 (8日)	武田 彰 (9日)					
総務委員長	古川 利勝						
総務副委員長	傳野 龍太郎						
セフティマネージャー	鈴木 俊保						
学生委員	江澤 翼	小針 惟捺	天野 颯太				
総務委員	小野木さくら	島崎 将男	佐藤 后嶺				
チーフコミッサー	森川 和之						
審判団	武田 彰	大島 環	荒井 純一	岩間 光輝			
	大脇 恒夫	近嵐 智加良	白石 規哲	井上 武夫			
	津石 康平	玉木 伸雄	池内 直人	西沢 倭義			
	伊藤 将史	岩田 全弘	若生 宏	半田 響			
	布目 一也	古田 雅拓 (8日)	野寄 賢二 (8日)	重田 兼吾 (8日)			
	高橋 昌夫 (9日)	三浦 拓郎 (9日)	和田 恭 (9日)	磯邊 愛 (9日)			
立哨・競技役員							
(8日)	澤口 龍馬 / 作新学 山本 率揮 / 順天堂 塩野 信梨 / 中央 西村 明展 / 東京 濱 彩春 / 法政 針替 百花 / 立教 福島 瑞希 / 早稲田 藤原 央将 / 朝日 田中 輝 / 同志社 国吉 朔望 / 慶應体	中井 陸都 / 作新学 塩出 優晋 / 順天堂 引場 正弥 / 中央 陶山 陽也 / 日本 宮澤 陽大 / 法政 大竹 広高 / 立教 米田 千紘 / 日本体 山田 潤 / 京都産 宮本 力ナホ / 立命館 今西 沙奈 / 慶應体	西村 林太郎 / 作新学 磯野 葵衣 / 慶應 高橋 駿斗 / 中央 高木 春光 / 日本 菅野 芙由子 / 明治 水野 愛果 / 立教 前原 秀太 / 日本体 森田 叶夢 / 京都産 山崎 颯大 / 立命館	河野 星成 / 作新学 西田 七菜 / 慶應 鎌田 将 / 東京 村山 健太郎 / 日本 豊岡 優莉那 / 明治 安井 健二郎 / 早稲田 大関 奏音 / 日本体 山本 溜牙 / 京都産 香川 陽佳 / 関西	大谷 立樹 / 順天堂 平石 梨佐子 / 慶應 篠崎 蒼平 / 東京 相見 涼花 / 法政 中村 和樹 / 明治 下瀬 結仁 / 早稲田 竹口 要 / 朝日 三村 航生 / 同志社 矢野 綺彩 / 関西		
(9日)	中井 陸都 / 作新学 西田 玲遠 / 順天堂 高柳 季尚 / 慶應 篠崎 蒼平 / 東京 相見 涼花 / 法政 矢野 行哉 / 立教 米田 千紘 / 日本体 岡安 征哉 / 朝日 矢野 綺彩 / 関西	西村 林太郎 / 作新学 磯野 葵衣 / 慶應 塩野 信梨 / 中央 西村 明展 / 東京 濱 彩春 / 法政 永 幸 / 立教 前原 秀太 / 日本体 山田 溜牙 / 京都産 幸 誠 / 慶應体	河野 星成 / 作新学 西田 七菜 / 慶應 引場 正弥 / 中央 陶山 陽也 / 日本 宮澤 陽大 / 法政 久次 真以 / 立教 大関 奏音 / 日本体 三村 航生 / 同志社	沼田 心和 / 順天堂 平石 梨佐子 / 慶應 高橋 駿斗 / 中央 高木 春光 / 日本 豊岡 優莉那 / 明治 安井 健二郎 / 早稲田 竹口 要 / 朝日 田中 輝 / 同志社	野崎 優空 / 順天堂 六川 毅 / 慶應 鎌田 将 / 東京 村山 健太郎 / 日本 菊地 英 / 立教 下瀬 結仁 / 早稲田 藤原 央将 / 朝日 香川 陽佳 / 関西		
大会医師	金子 稔						
看護師	ピースフルより派遣 (8日)	平 菫 真由美 (9日)					
大会当番校	中央大学・東北学院大学					(順不同)	

第 63 回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会 大会要項

ver20251016

- 主催 日本学生自転車競技連盟
 共催 公益財団法人日本自転車競技連盟 一般社団法人埼玉県自転車競技連盟
 後援 国土交通省 利根川上流河川事務所 加須市 羽生市 羽生市教育委員会
 協賛 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社
 株式会社パールイズミ 株式会社 JPF
- 期 日 2025 年 11 月 6 日 (木) チーム監督 / 代表者 Zoom 会議 20 時より
 2025 年 11 月 8 日 (土) 11 時 30 分 競技開始
 (立哨役員集合 8:30、ゼッケン配布 / 9:30 ~ 10:00、試走開始 10:00 予定 ~ 10:30 まで)
- 会 場 埼玉県利根川上流域南側 加須市・旧おおとね童謡のふる里室前発着 羽生市・昭和橋近傍折返し
- 大会主旨 本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟 (以下、「本連盟」という) 加盟校の学校対抗形式によるチームロードレースの優勝校を決める大会とする。
- 競技種目 男子チーム・タイムトライアル・ロードレース: 63.2 km
- 参加資格 1. 会場入場者全員
 ・別途コミュニケーション等により発表する感染対策等の指針と現場における指示に従うこと。
2. 出場選手
 ・日本学生自転車競技連盟憲章・副則・諸規則規程を熟読熟知のうえ順守し、その主旨に賛同して本連盟事業の安全・円滑な運営に協力・寄与する者であること。
 ・受講実績として有効な期間内の座学講習会、実地研修会をエントリー提出日までに少なくともそれぞれ 1 回ずつ以上受講済であること。なお、本年度の座学講習会、実地研修会の日程は本連盟 HP で確認すること。また、その他アンチドーピング関係の講習受講などの要件については、以下の本連盟 HP のアドレスからサイトを確認すること。<https://jicf.info/27120/>
 ・なお、アンチドーピング研修の受講実績については、JCF 登録時に求められることに加えて、日本学生自転車競技連盟としても受講実績を確認することとなったので注意のこと。
 ・当該年度に有効な (公財) 日本自転車競技連盟 (以下「JCF」という) または UCI 加盟国内連盟の発行するライセンス所持者のうち、本連盟加盟校の登録選手であること。
 ・本連盟加盟校以外のチームのオープン参加を主催者判断により認める場合がある。
3. チームスタッフ
 ・JCF 又は UCI 加盟国発行ライセンスを所持していること。
 ・ただしチーム監督・代表者は競技者ライセンスのみの保有者は務めることは許容されず、コーチ、チームアテンド、審判のいずれかのライセンスを所持している必要がある。
 ・チーム監督 / 代表者及びチームスタッフは、所定の座学講習会とアンチドーピング講習会をエントリー提出日までに少なくともそれぞれ 1 回ずつ以上受講済であること。
4. 緊急時搬送同行・送迎要員
 ・大会中に選手を医療機関等に搬送する必要がある場合、チームの責任において搬送すること。救急車を要請した場合、同乗者はチームの責任において選任すること。
 ・緊急時搬送同行・送迎要員は、必ずしも競技ライセンスを必要としない。また、チーム監督 / 代表者、コーチ等が兼任してもよいが、競技中であっても救護活動を優先すること。
 ・エントリー用紙に緊急時搬送同行・送迎要員としての氏名の登録を必須とする。
5. 供出役員 (立哨役員・競技役員)
 ・参加各チームは、以下の通り役員を供出することを参加条件とする。供出役員は JCF 又は UCI 加盟国発行ライセンスを所持していること。(競技者ライセンスでも可) 但し、2 名以上の場合、1 名以上は審判ライセンス保持者とする。その審判ライセンスが第 2 級公認審判員以上の資格の場合は、審判員 1 名で供出役員 2 名分として換算することができる。審判ライセンス保持者がいない場合はもう 1 名追加すること。
 ・参加各チームは、公認審判員 1 名および立哨役員 1 名の合計 2 名、もしくは立哨役員 3 名の供出を参加のための必要条件とする。さらに、埼玉・東京・神奈川・山梨・千葉・茨城・群馬・栃木県が登録地であるチームは、上記の供出人数に加えてもう 1 名の立哨役員を供出すること。
 ・立哨役員はコース上の指定された箇所に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としないが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得していて、コースの安全管理が可能な当年 3 月 31 日時点で満 18 歳以上の者とする。
 ・今回の供出役員は立哨だけでなく競技役員として配置される場合がある。
 ・供出役員には、昼食を支給する (但し、交通費・宿泊費及び日当の支給は行わない)。
 ・本大会のエントリー用紙に供出予定役員の氏名・ライセンス番号等の必要事項を記入すること。
6. 供出役員の変更
 ・エントリー用紙に記入した供出役員名を変更する場合は、大会開催 3 日前の 22 時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の供出役員の変更は認めない。
 ・当日エントリー選手数が減少した場合でも、供出役員の人数は減らすことはできない。また、供出役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には代替りの者を出すこと。代替りの者を出せない場合には、実際に参加可能な供出役員数に対応する選手数に出走者数が限定される。もしくは該当する大学・チームに対して、1 名の不足につき 10000 円のペナルティを科す。
 ・感染症などにより一部もしくはすべての出場者が欠場するなどの場合は、至急事務局まで連絡すること。
- 参加基準 各校 1 チームとし、チームは 3 名または 4 名の選手で構成し、また 2 名の補欠選手エントリーを認める。
- 参加申込 1. エントリー申込
 ・所定の様式 (エクセル) でエントリー専用電子メールアドレス宛てに本連盟事務局まで申し込むこと。
 2023jicf.championship@gmail.com エクセル様式申込書式は JICF ウェブサイトより入手できる。

エクセル様式の到着を以て参加申込の正式受領とするが、相当するエントリー概要内容を Google フォームにて期限内に送付する事。<https://forms.gle/Z8h5rLVefYKCu5Du7>

- ・本連盟ウェブサイトに入エントリー受信者リストを公表するので、各自確認のこと。
- ・大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重くなるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に挿入する事を禁ずる、別ファイルにして送ること。申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。
- 2. 参加料
 - ・参加料は1チームにつき30,000円とする。
- 3. 申込期限および参加料納入期限
 - 10月7日(火)17時必着とする。
- 4. 参加料振込先
 - 長野県労働金庫(ろうきん)諏訪湖支店 普通9687348 口座名義 日本学生自転車競技連盟
 - 送金名義人について、振込元に大会コード1108と、XXダイガク等、必ずチーム名を記入すること。銀行振込以外の支払方法は認めない。大会毎に送金口座が異なるので注意すること。
- 5. 返金
 - ・一旦入金された参加料は原則として返金しない。但し、本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金するので、返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。
 - ・当日の体調不良により参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。
- 6. 欠場
 - ・本大会における欠場については理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを科さないこととする。ただし、受付開始時刻以前に事務局まで電子メール(jicf@remus.dti.ne.jp)および電話(学連携帯090-2207-2369)で欠場の連絡をすること。
- 7. 誓約
 - ・申込み手続きを以て本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。

会場入場

1. チームスタッフの登録
 - ・選手1名につきスタッフ2名を上限(飲食料の補給スタッフを含む)として会場への入場を許可する。
 - ・監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。但し、参加資格5.の供出役員についてはチームスタッフの合計人数に含まない。
 - ・選手以外のチームスタッフ全員の氏名をエントリー用紙に記入すること。氏名の記入がない場合には、会場、チームPITおよび車輪・器材交換の指定PITへの入場も許可しない。
2. 登録スタッフの変更
 - ・エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。
3. メディア関係者
 - ・大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。

選手受付

1. ライセンスコントロール
 - ・ライセンスコントロールは事前にデータ上で行い、大会受付の現場では行わない。別途コミュニケーション発表の受付時間内に大会受付にてゼッケンを受け取る。欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。
2. 出走メンバーリスト提出
 - ・出走サインは行わないので、出走1時間前までに出走メンバーのリストをセクレタリまで提出すること。
3. バイクチェック
 - ・参加者は、自転車・ヘルメットを持参して出走15分前までにバイク・インスペクションを受けること。
 - ・レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。
4. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

賞典・式典

1. 開会式・閉会式については別途発表するコミュニケにて詳細をご確認ください。表彰式については第3位以上のみ競技終了後、準備が整い次第、フィニッシュライン付近にて行う。
2. 優勝チームに優勝杯、チャンピオンジャージ、賞状を授与する。第2位および第3位に、賞品と賞状を授与する。第4位から第8位に、賞状を授与する。

事故措置

1. 競技中発生した事故等について参加者は自ら責任を負う。
2. 主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応のこと。
3. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入のこと。
4. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。
5. 主催者において加入している傷害保険は、死亡1000万円、入院・通院保障なしである。

肖像権

本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じる。

競技規則

JCF 競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

司法管轄

本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争(裁判所の調停手続きを含む)は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したと見做す。

ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会に入エントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構(JADA)への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア 408
Tel 090-2207-2369 Fax 03-6804-2329

特 別 規 則

第1条 (チーム監督 / 代表者会議)

1. 2025年11月6日(木) 20時00分より、事前にリモートでチーム監督 / 代表者会議を行う。参加チームの監督、代表者は必ず参加すること。
2. 会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者のE-mailアドレスに送付する。
3. 正当な理由無く無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、罰金のペナルティを科す。

第2条 (スタート・走行)

各チームのスタート間隔は、前年の上位8校は2分、その他は1分とする。前年度上位校から順に発走する。競技中は、原則として左側通行とする。

第3条 (計時)

各チームの3番目選手がフィニッシュラインを通過したときにタイムを計時する。

第4条 (食料補給)

飲食料の補給は、フィニッシュ側折返し地点の認められた場所において每周回認める。

第5条 (PIT 及び車輪・器材交換)

コミュニケで指定する箇所のPITでのみ車輪・器材交換を認める。各チームはPITに1～2名の人員が待機することができるが、チーム同士の間隔を審判役員の指示した通りにあけること。また、前年度上位8校にはMOTO審判がつくが、担当する上位8校の各チームから車輪を1ペア、交換用器材としてMOTO車両に積載することができる。

第6条 (器材)

1. 当連盟HPに掲載の「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守すること。(例えば、「公道を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする」など詳細は本規定を確認すること)
2. これら器材に関する条項に違反していることがスタート時に発覚した場合は、スタートは拒否される。
3. また、スタート後及びゴール後に違反していることが発覚した場合は、バイクチェックを実施したのち失格を含むペナルティの対象となることがある。

第7条 (無線通信)

レース中の競技者相互・競技者と監督間の無線通信を、競技運営ならびに安全性を妨げない範囲において認める。(UCI規則2.2.024条、JCF規則第28条1参照のこと)

第8条 (その他)

指定された場所以外での食料の残り・包装等、あらゆる固形物の投げ捨てはコースの内・外、レース中・外を問わず固形物1点につき3,000円のペナルティを科す。

誓 約 書

日本学生自転車競技連盟 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守することと誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI規則1.1.004、JCF規則第5条2.(4))
- 2 大会(競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む)における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF規則第5条2.(9)準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI規則1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしめたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、健全に十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI規則1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI規則1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI規則1.2.082)
- 9 本大会への参加に関連して生じる競技結果・ペナルティなどに関して、本連盟ウェブサイト等において氏名・所属チーム等が公表されることを予め承諾する。
以上

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。

第10回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 大会要項

ver20251016

- 主催 日本学生自転車競技連盟
共催 公益財団法人日本自転車競技連盟 一般社団法人埼玉県自転車競技連盟
後援 国土交通省 利根川上流河川事務所 加須市 羽生市 羽生市教育委員会
協賛 井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ 株式会社 JPF
期日 2025年11月6日(木) チーム監督/代表者 Zoom 会議 20時より
2025年11月9日(日) 9時30分 競技開始
(立哨役員集合7:45、ゼッケン配布/8:15～8:45、試走開始8:30 予定～9:00 まで)
会場 埼玉県利根川上流域 加須市旧おおとね童謡のふる里室前発着
大会主旨 本大会は、本年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)に登録した選手による個人ロードタイムトライアルの優勝者を決めるとともに、学生自転車競技水準向上と、開催地域におけるサイクリススポーツの振興に寄与することを目的とする。
競技種目 個人ロードタイムトライアル 男子:31.2km 女子:25.2km
参加資格 1.会場入場者全員
・別途コミュニケーション等により発表する感染対策等の指針と現場における指示に従うこと。
2.出場選手(全カテゴリー共通)
・日本学生自転車競技連盟憲章・副則・諸規則規程を熟読熟知のうえ順守し、その主旨に賛同して本連盟事業の安全・円滑な運営に協力・寄与すること。
・受講実績として有効な期間内の座学講習会、実地研修会をエントリー提出日までに少なくともそれぞれ1回ずつ以上受講済であること。なお、本年度の座学講習会、実地研修会の日程は本連盟 HP で確認すること。また、その他アンチドーピング関係の講習受講などの要件については、以下の本連盟 HP のアドレスからサイトを確認すること。<https://jicf.info/27120/>
・なお、アンチドーピング研修の受講実績については、JCF 登録時に求められることに加えて、日本学生自転車競技連盟としても受講実績を確認することとなったので注意のこと。
・当該年度に有効な(公財)日本自転車競技連盟(以下「JCF」という)または UCI 加盟団体発行の競技者ライセンス保持者であること。
・本連盟加盟校の登録選手が所属するロードのクラスについては、エントリー提出日における当連盟事務局で認識しているロードのクラスでエントリーできるものとする。自分のロードクラスが不明である場合は、エントリー用紙提出前に当連盟事務局に問い合わせをすること。
・なお、エントリー提出日より大会当日までの間に、当連盟の主催大会においてロードのクラスが昇格等により変更となった場合、大会当日にエントリーしていたカテゴリークラスの変更を認める。但し、カテゴリークラスを変更した場合、エントリー提出日の所属クラスで作成した競技プログラム上の発送順及びゼッケン番号は、そのまま変更しないものとする。
①男子
・本連盟加盟校の登録選手で本年度大会参加基準を満たしている者(ロードカテゴリークラス1+2)
・オープン参加:エリート、U23、ジュニア、パラサイクリング・ライセンス保持者で、本連盟が認めた若干名の者とする
②女子
・本連盟加盟校の登録選手
・オープン参加:エリート、U23、ジュニア、パラサイクリング・ライセンス保持者で、本連盟が認めた者
③普及レース 下記競技者を対象に、普及レースを実施する。
・学連登録選手:ロードカテゴリークラス3の者のみとする。
3.チームスタッフ
・JCF 又は UCI 加盟国発行ライセンスを所持していること。
・ただしチーム監督・代表者は競技者ライセンスのみの保有者は務めることは許容されず、コーチ、チームアテンド、審判のいずれかのライセンスを所持している必要がある。
・チーム監督/代表者及びチームスタッフは、所定の座学講習会とアンチドーピング講習会をエントリー提出日までに少なくともそれぞれ1回ずつ以上受講済であること。
4.緊急時搬送同行・送迎要員
・大会中に選手を医療機関等に搬送する必要がある場合、チームの責任において搬送すること。救急車を要請した場合、同乗者はチームの責任において選任すること。
・緊急時搬送同行・送迎要員は、必ずしも競技ライセンスを必要としない。また、チーム監督/代表者、コーチ等が兼任してもよいが、競技中であっても救護活動を優先すること。
・エントリー用紙に緊急時搬送同行・送迎要員としての氏名の登録を必須とする。
5.供出役員(立哨役員・競技役員)
・前項2.のすべての選手のエントリーについて立哨役員・競技役員を供出することを参加のための必要条件とする。供出役員は JCF 又は UCI 加盟国発行ライセンスを所持していること。(競技者ライセンスでも可)
・供出の条件については下記を参照し、チーム毎の参加選手数(①、②、③のすべての参加者の合計)に応じて立哨役員・競技役員を供出すること。

参加選手数	立哨・競技役員供出数(最低数)	(Aゾーンのチーム)	(Bゾーンのチーム)	(Cゾーンのチーム)
1～2	0	0	0	0
3～4	1	0	0	0
5～6	2	1	1	0
7～8	3	2	2	1
9以上	選手2名につき1名 (少数点以下切り捨て)	選手3名につき1名 (少数点以下切り捨て)	選手6名につき1名 (少数点以下切り捨て)	

 ・Aゾーン:埼玉・東京・神奈川・山梨・千葉・群馬・栃木・茨城が登録地であるチーム
 ・Bゾーン:Aゾーン以外の本州内のチーム
 ・Cゾーン:本州以外のチーム
 ・但し、2名以上の場合、1名以上は審判ライセンス保持者とする。その審判ライセンスが第2級公認審判員以上の資格の場合は、審判員1名で供出役員2名分として換算することができる。審判ライセンス保持者がいな

い場合はもう1名を追加すること。

- ・本大会のエントリー用紙に供出予定役員の氏名・ライセンス番号等の必要事項を記入すること。
 - ・選手権レースと普及レースに出場する選手が交代して供出役員になることは認めない。
 - ・今回の供出役員は立哨だけでなく競技役員として配置される場合がある。
 - ・立哨役員はコース上の指定された箇所に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得してコースの安全管理が可能な当年3月31日時点で満18歳以上の者とする。
 - ・供出役員には、昼食を支給する(但し、交通費・宿泊費及び日当の支給は行わない)。上記条件は学連・その他のチームを問わず参加全チームに適用される。
6. 供出役員(立哨役員・競技役員)の変更
- ・エントリー用紙に記入した供出役員名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の供出役員の変更は認めない。
 - ・当日エントリー選手数が減少した場合でも、供出役員の人数は減らすことはできない。また、供出役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には、代わりの者を出すこと。代わりの者を出せない場合には、実際に参加可能な供出役員数に対応する選手数に出走者数が限定される。もしくは該当する大学・チームに対して、1名の不足につき10000円のペナルティを科す。
 - ・感染症などにより一部もしくはすべての出場者が欠場するなどの場合は、至急事務局まで連絡すること。

参加申込 1. エントリー申込

- ・所定の様式(エクセル)でエントリー専用電子メールアドレス宛てに本連盟事務局まで申し込むこと。
2023jicf.championship@gmail.com エクセル様式申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。
エクセル様式の到着を以て参加申込の正式受領とするが、相当するエントリー概要内容をGoogleフォームにて期限内に送付する事。<https://forms.gle/pYCBpD42PSXEA4Fj9>
- ・本連盟ウェブサイトにエントリー受信者リストを公表するので、各自確認のこと。
- ・大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重なるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に挿入する事を禁ずる、別ファイルにして送ること。申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

2. 参加料

- ・参加料は、学連登録者は1名につき8,000円、それ以外の参加者は1名につき10,000円とする。

3. 申込期限および参加料納入期限

10月7日(火)17時必着とする。

4. 参加料振込先

長野県労働金庫(ろうきん)諏訪湖支店 普通9687355 口座名義 日本学生自転車競技連盟
送金名義人について、振込元は大会コード1109と、XXダイガク等、必ずチーム名を記入すること。
銀行振込以外の支払方法は認めない。大会毎に送金口座が異なるので注意すること。

5. 返金

- ・一旦入金された参加料は原則として返金しない。但し、本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金するので、返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。
- ・当日の体調不良により参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。

6. 欠場

- ・本大会における欠場については理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを科さないこととする。ただし、受付開始時刻以前に事務局まで電子メール(jicf@remus.dti.ne.jp)および電話(学連携帯090-2207-2369)で欠場の連絡をすること。

7. 誓約

- ・申込み手続きを以て本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。

会場入場 1. チームスタッフの登録

- ・選手数+1名を上限(選手1名ならば、2名まで)としてチームスタッフの登録を行うことができる。
- ・監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。但し、参加資格5.の供出役員(立哨役員・競技役員)についてはチームスタッフの合計人数に含まない。
- ・選手以外のチームスタッフ全員の氏名をエントリー用紙に記入すること。氏名の記入がない場合には、会場および車輪・器材交換の指定PITへの入場も許可しない。

2. 登録スタッフの変更

- ・エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。

3. メディア関係者

- ・大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。

選手受付 1. ライセンスコントロール

- ・ライセンスコントロールは事前にデータ上で行い、大会受付の現場では行わない。別途コミュニケーションの受付時間内に大会受付にてゼッケンを受け取る。欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。

2. バイクチェック

- ・参加者は、自転車・ヘルメットを持参して各ラウンド出走15分前までにバイク・インスペクションを受けること。
- ・レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。

- 3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

賞典・式典

1. 開会式・閉会式については別途発表するコミュニケにて詳細をご確認ください。表彰式については第3位以上のみ競技終了後、準備が整い次第、フィニッシュライン付近にて行う。
2. 男子と女子の第1位にチャンピオンシャーシと賞品、賞状を授与する。同じく男女の第2位および第3位に、賞品と賞状を授与する。また、男子の第4位から第8位に賞状を授与する。尚、オープン参加者が上位3位以内となった場合、学生選手権大会の上位者表彰を併せて行う。普及レースは第1位から第3位に、賞状を授与する。
3. 普及レースのクラス3の出走者(オープン選手の数は含めない)の上位8%以内(小数点以下切上げ・完走しなかった者を除く)の選手(学連登録選手であること)はクラス2に昇格し、クラス2の1位の選手(学連登録選手であること)はクラス1に昇格する。

- 事故措置 1. 競技中発生した事故等について参加者は自ら責任を負う。
 2. 主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応のこと。
 3. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入のこと。
 4. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。
 5. 主催者において加入している傷害保険は、死亡1000万円、入院・通院保障なしである。
- 肖像権 本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。
- 競技規則 JCF 競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。
- 司法管轄 本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争（裁判所の調停手続きを含む）は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したと見做す。

ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構（JADA）への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリムピックスクエア 408
 Tel 090-2207-2369 Fax 03-6804-2329

特 別 規 則

第1条（チーム監督 / 代表者会議）

1. 2025年11月6日（木）20時より、事前にリモートでチーム監督 / 代表者会議を行う。参加チームの監督、代表者は必ず参加すること。
2. 会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者のE-mailアドレスに送付する。
3. 正当な理由無く無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、罰金のペナルティを科す。

第2条（スタート・走行）

各選手のスタート間隔は、原則として30秒間とする。競技中は、原則として左側通行とする。

第3条（追走車両）

各選手に対する追走車両は走行しない。

第4条（器材交換）

各校にて用意した代車（バイクチェックを事前に受けること）・代輪は、指定されたピットにおいてのみ交換を認める。

第5条（食料補給）

飲食物の補給は認めない。

第6条（器材）

1. 当連盟 HP に掲載の「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守すること。（例えば、「公道上进行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする」など詳細は本規定を確認すること）
2. クラス3の選手については、ディスクホイールやタイムトライアル専用バイクの使用、エクステンションバーの取付けを禁止する。
3. これら器材に関する条項に違反していることがスタート時に発覚した場合は、スタートは拒否される。
4. また、スタート後及びゴール後に違反していることが発覚した場合は、バイクチェックを実施したのち失格を含むペナルティの対象となることがある。

第7条（その他）

1. レース中の競技者との無線通信その他の遠隔通信は禁止とする。
2. ウォームアップは指定の場所で行い、周辺のサイクリングロードを使用しないこと。また移動でサイクリングロードを使用する際は、他の利用者に十分注意して低速で走行すること。

誓 約 書

日本学生自転車競技連盟 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

1. UCI（国際自転車競技連合）・JCF（日本自転車競技連盟）規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。（UCI 規則 1.1.004、JCF 規則第5条2.（4））
2. 大会（競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む）における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。（JCF 規則第5条2.（9）準用）
3. 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。（UCI 規則 1.1.078）
4. チーム監督は絶えず継続的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。（UCI 規則 1.1.079）
5. チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。（UCI 規則 1.1.080）
6. すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おとしや、飾りや、下品なふるまい、他の人を危険な状態におとしいたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCI および自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、秘鍵に十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。（UCI 規則 1.2.079）
7. 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。（UCI 規則 1.2.081）
8. 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。（UCI 規則 1.2.082）
9. 本大会への参加に関連して生じる競技結果・ペナルティなどに関して、本連盟ウェブサイト等において氏名・所属チーム等が公表されることを予め承諾する。

以上

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。

タイム・スケジュール

開始時刻	参加選手	立哨・競技役員	備考
11月8日(土) 第63回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会			
5:30~8:30		コース設営作業	
7:30~	第1駐車場入場開始		
8:30		立哨員 受付	大会本部前
9:00~9:20		競技役員/立哨員 打合せ	大会本部前
9:30~10:00	選手受付/出走者確認・ゼッケン配布	立哨員 配置移動	大会本部前
10:00~10:30	試走(横断車両あり注意)	MOTO審判(10:00~コースクリア)	スタート地点
10:00~	バイク検車開始		大会本部前
11:05~11:20	開会式		大会本部前
11:30	競技開始		スタート地点
14:30~(予定)	表彰式・閉会式	コース設営撤収作業	大会本部前
11月9日(日) 第10回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会			
5:30~7:45		コース設営作業	
7:00~	第1駐車場入場開始		
7:45		立哨員 受付	大会本部前
8:00~8:15		競技役員/立哨員 打合せ	大会本部前
8:15~8:45	選手受付/欠場者確認・ゼッケン配布	立哨員 配置移動	大会本部前
8:30~9:00	試走(横断車両あり注意)	MOTO審判(8:30~コースクリア)	スタート地点
8:30~	バイク検車開始		大会本部前
9:30~	女子競技開始		スタート地点
10:00~	男子競技開始		スタート地点
14:00~(予定)	表彰式・閉会式	コース設営撤収作業	大会本部前

式 次 第

第 63 回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会

開 会 式

11月8日(土) 11時05分より(放送アナウンスで)

- 1 開会宣言 学生委員長 江 澤 翼
- 2 開会挨拶
日本学生自転車競技連盟会長 村 岡 功
- 3 歓迎挨拶
埼玉県加須市副市長 萩 原 利 一 様
- 4 優勝杯返還 第62回大会優勝校 中 央 大 学
- 5 選手宣誓 中央大学 山 下 虎之亮

表彰式・閉会式

11月8日(土) 14時30分より(予定)

- 1 成績発表・表彰
- 2 閉会挨拶
日本学生自転車競技連盟会長 村 岡 功
- 3 閉会宣言 学生委員長 江 澤 翼

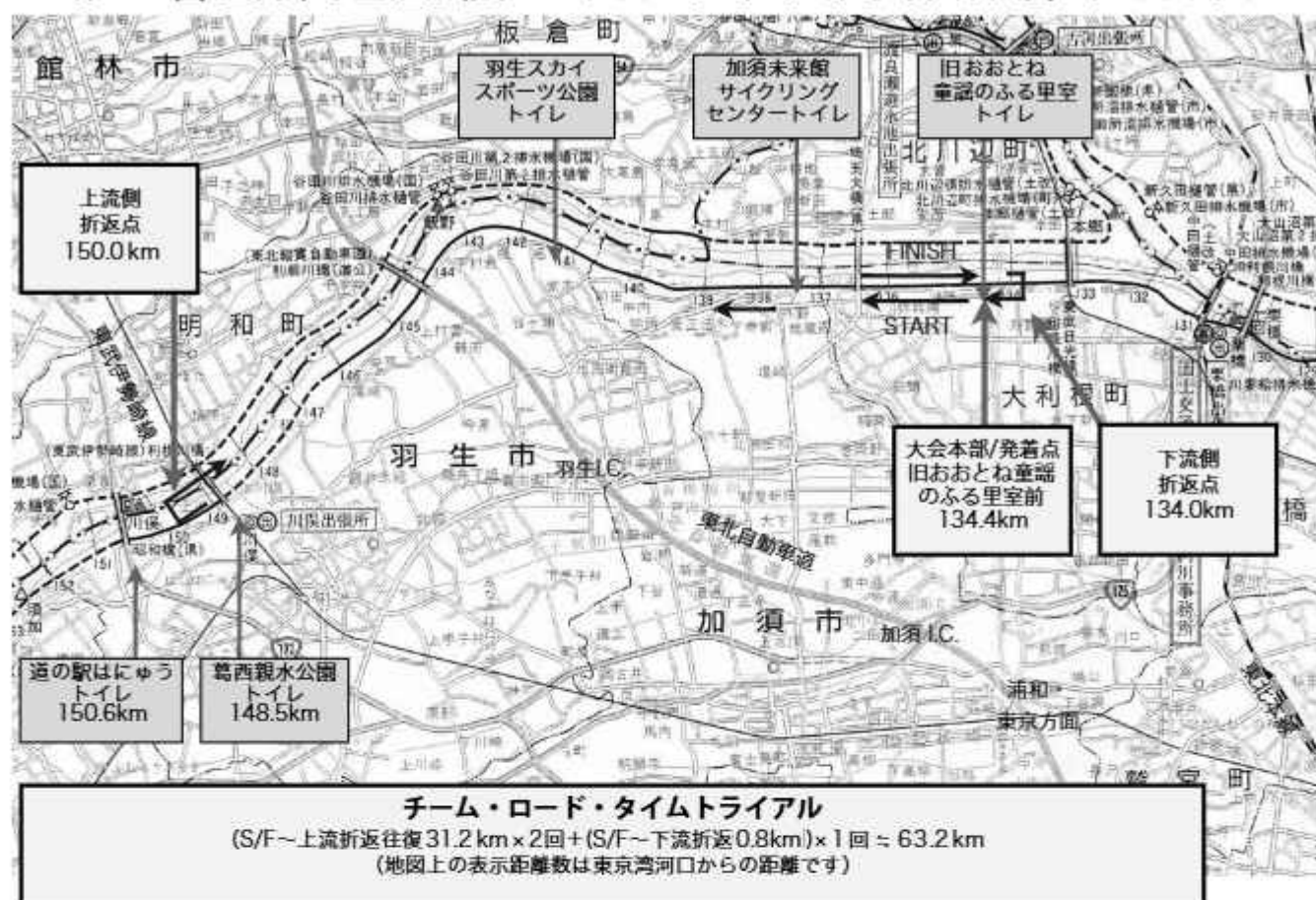
第 10 回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会

表彰式・閉会式

11月9日(日) 14時00分より(予定)

- 1 成績発表・表彰
- 2 閉会挨拶
日本学生自転車競技連盟副会長 井 関 康 正
- 3 閉会宣言 学生委員長 江 澤 翼

第 63 回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会 コースマップ



大会本部・駐車場・スタート/フィニッシュ地点 詳細図 11/8 (土) チーム・ロード・タイムトライアル大会



第 63 回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会 スタートリスト

No	チーム名	ゼッケン	氏名	学年	ゼッケン	氏名	学年	スタート時刻
1	中央大学	1	山下 虎ノ亮	4	4	犬伏 輝斗	3	11:30:00
		2	三宅 太生	3	5	岩月 諒太郎	2	
		3	大室 佑	3	6	三浦 一真	1	
2	日本大学	11	鎌田 晃輝	3	14	藤澤 勇聡	2	11:32:00
		12	阿部 源	3	15	木綿 峻介	1	
		13	秦 愛希翔	2	16	望月 蓮	1	
3	早稲田大学	21	鈴木 紳之助	3	24	児玉 誠虎	2	11:34:00
		22	山里 一心	3	25	岩村 元嗣	1	
		23	大野 宗哲	2	26	小林 典宗	1	
4	明治大学	31	鈴木 滯	3	34	升谷 太一	1	11:36:00
		32	辻 洸之介	2				
		33	秋元 碧	1				
5	順天堂大学	41	菅原 聡	4	44	市村 颯大	2	11:38:00
		42	大森 虹亮	3	45	鯉沼 晴稀	1	
		43	竹内 蓮翔	2	46	堀本 素良	1	
6	京都産業大学	51	渡辺 一気	2	54	神谷 啓人	1	11:40:00
		52	井上 拓海	2	55	伊東 景祐	1	
		53	稲吉 一生	2	56	原田 應佑	1	
7	朝日大学	61	渡邊 蓮	3	64	丸之内 良利	3	11:42:00
		62	鶴久 力	3	65	菅原 彪雅	2	
		63	千葉 俊輔	3	66	佐藤 綾祐	1	
8	鹿屋体育大学	71	並江 優作	3	74	河村 元	2	11:44:00
		72	梅澤 幹太	3	75	金井 健翔	1	
		73	廣田 汰也	2				
これより1分間隔の発走								
9	法政大学	81	屋口 修治	3	84	木下 寿杜頼	2	11:45:00
		82	吉野 瑠人	3	85	植本 健新	2	
		83	風間 大和	2	86	本井 大裕	1	
10	日本体育大学	91	小林 海斗	3	94	室伏 碧透	1	11:46:00
		92	新垣 快琉	3	95	宮崎 碧瑠斗	1	
		93	鈴木 清之介	2				
11	関西大学	101	西村 聡太	3	104	山田 唯聖	1	11:47:00
		102	中元 夢来	3	105	小林 史弥	1	
		103	西口 恵唯	2	106	二宮 芯太	1	
12	立命館大学	111	榊原 健太	3				11:48:00
		112	中江 真也	2				
		113	塚本 善広	2				
13	東京大学	121	長尾 春輝	3	124	山川 大輔	1	11:49:00
		122	下平 一貴	3	125	高角 康河	1	
		123	高木 そら	2	126	住吉 遙仁	1	
14	同志社大学	131	瀬戸口 瑛	3	134	鎌田 郁也	1	11:50:00
		132	天野 裕太	3	135	高石 眞央	1	
		133	小野寺 要	2	136	新名 太郎	1	
15	作新学院大学	141	左田 龍脩	4	144	及川 弘恭	3	11:51:00
		142	生田 楓唯	4				
		143	阿蘇 来夢	3				
16	慶應義塾大学	151	秋田 圭佑	4	154	山崎 直人	1	11:52:00
		152	南山 航介	3	155	渡邊 瑛俊	1	
		153	高島 和真	2	156	吉村 紘太郎	1	
17	立教大学	161	町田 和稀	3	164	笠原 昇太郎	1	11:53:00
		162	菅野 佑介	2				
		163	比留間 直人	1				

第10回 全日本学生選手権 個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 コースマップ



大会本部・駐車場・スタート/フィニッシュ地点 詳細図 11/9 (日) 個人ロードタイムトライアル自転車競技大会



第10回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 スタートリスト

選手権大会 / 女子スタートリスト					
ゼッケン	チーム名	氏名	学年	スタート時刻	
201	日本体育大学	水谷 彩奈	2	9時30分00秒	
202	同志社大学	石田 明梨	3	9時31分00秒	
203	八戸学院大学	近田 ちひろ	1	9時32分00秒	
204	立教大学	針替 百花	2	9時33分00秒	
205	日本体育大学	伊藤 日菜子	1	9時34分00秒	
206	法政大学	北中 成実	1	9時35分00秒	
207	鹿屋体育大学	今西 紗楽	1	9時36分00秒	
208	立教大学	水野 愛果	1	9時37分00秒	
インターバル (折返し地点変更のため 女子が全員折返しを終了するまで待つ)					

選手権大会 / 男子スタートリスト クラス1+2					
ゼッケン	チーム名	氏名	学年	スタート時刻	
1	日本大学	鎌田 晃輝	3	10時00分00秒	
2	中央大学	三宅 太生	3	10時01分00秒	
3	東京都市大学	阿見寺 俊哉	2	10時02分00秒	
4	順天堂大学	菅原 聡	4	10時03分00秒	
5	早稲田大学	山里 一心	3	10時04分00秒	
6	日本大学	阿部 源	3	10時05分00秒	
7	中央大学	大室 佑	3	10時06分00秒	
8	慶應義塾大学	秋田 圭佑	4	10時07分00秒	
9	朝日大学	阿部 良利	3	10時08分00秒	
10	明治大学	鈴木 滯	3	10時09分00秒	
11	日本大学	菅野 蒼羅	4	10時10分00秒	
12	法政大学	風間 大和	2	10時11分00秒	
インターバル					
13	作新学院大学	阿藤 来夢	3	10時20分00秒	
14	京都産業大学	井上 拓海	2	10時21分00秒	
15	同志社大学	瀬戸口 瑛	3	10時22分00秒	
16	立命館大学	榊原 健太	3	10時23分00秒	
17	朝日大学	雪本 誠	2	10時24分00秒	
18	作新学院大学	及川 弘恭	3	10時25分00秒	
19	鹿屋体育大学	梅澤 幹太	3	10時26分00秒	
20	立教大学	町田 和稀	3	10時27分00秒	
21	早稲田大学	児玉 誠虎	2	10時28分00秒	
22	京都産業大学	伊東 景祐	1	10時29分00秒	
23	作新学院大学	生田 楓唯	4	10時30分00秒	
インターバル					
24	明治大学	辻 洸之介	2	10時40分00秒	
25	鹿屋体育大学	並江 優作	3	10時40分30秒	
26	日本体育大学	小林 海斗	3	10時41分00秒	
27	朝日大学	鶴久 力	3	10時41分30秒	
28	早稲田大学	鈴木 紳之助	3	10時42分00秒	
29	法政大学	木下 寿杜頼	2	10時42分30秒	
30	日本大学	新宮 颯太	3	10時43分00秒	
31	鹿屋体育大学	河村 元	2	10時43分30秒	
32	同志社大学	天野 裕太	3	10時44分00秒	
33	作新学院大学	左田 龍脩	4	10時44分30秒	
34	順天堂大学	市村 颯大	2	10時45分00秒	
35	慶應義塾大学	南山 航介	3	10時45分30秒	

第10回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 スタートリスト

ゼッケン	チーム名	氏名	学年	スタート時刻	
36	中央大学	犬伏 輝斗	3	10時46分00秒	
37	鹿屋体育大学	廣田 汰也	2	10時46分30秒	
38	法政大学	屋口 修治	3	10時47分00秒	
39	日本大学	秦 愛希翔	2	10時47分30秒	
40	立教大学	菅野 佑介	2	10時48分00秒	
41	日本体育大学	新垣 快琉	3	10時48分30秒	
42	朝日大学	渡邊 蓮	3	10時49分00秒	
43	関西大学	西村 聡太	3	10時49分30秒	
44	順天堂大学	塩出 優晋	2	10時50分00秒	
インターバル					
45	京都産業大学	稲吉 一生	2	11時00分00秒	
46	慶應義塾大学	山崎 直人	1	11時00分30秒	
47	鹿屋体育大学	金井 健翔	1	11時01分00秒	
48	中央大学	岩月 諒太郎	2	11時01分30秒	
49	日本大学	石田 航太	2	11時02分00秒	
50	法政大学	吉野 瑠人	3	11時02分30秒	
51	明治国際医療大学	樋口 源	3	11時03分00秒	
52	日本体育大学	鈴木 清之介	2	11時03分30秒	
53	朝日大学	千葉 俊輔	3	11時04分00秒	
54	関西大学	西口 恵唯	2	11時04分30秒	
55	順天堂大学	竹内 蓮翔	2	11時05分00秒	
56	明治大学	秋元 碧	1	11時05分30秒	
57	立教大学	比留間 直人	1	11時06分00秒	
58	早稲田大学	岩村 元嗣	1	11時06分30秒	
59	京都産業大学	神谷 啓人	1	11時07分00秒	
60	立命館大学	中江 真也	2	11時07分30秒	
61	慶應義塾大学	吉村 紘太郎	1	11時08分00秒	
62	鹿屋体育大学	国吉 朔望	1	11時08分30秒	
63	日本大学	木綿 峻介	1	11時09分00秒	
64	日本体育大学	室伏 碧透	1	11時09分30秒	
65	中央大学	三浦 一真	1	11時10分00秒	
インターバル					
66	法政大学	植本 健新	2	11時20分00秒	
67	朝日大学	菅原 彪雅	2	11時20分30秒	
68	順天堂大学	大谷 立樹	1	11時21分00秒	
69	関西大学	上中 陽生	1	11時21分30秒	
70	明治国際医療大学	西尾 啓臣	1	11時22分00秒	
71	大阪大学	綿貫 遙人	2	11時22分30秒	
72	同志社大学	小野寺 要	2	11時23分00秒	

ゼッケン	チーム名	氏名	学年	スタート時刻	
73	明治大学	升谷 太一	1	11時23分30秒	
74	立教大学	笠原 昇太郎	1	11時24分00秒	
75	京都産業大学	原田 應佑	1	11時24分30秒	
76	立命館大学	塚本 善広	2	11時25分00秒	
77	日本大学	望月 蓮	1	11時25分30秒	
78	日本体育大学	宮崎 碧瑠斗	1	11時26分00秒	
79	法政大学	本井 大裕	1	11時26分30秒	
80	朝日大学	和田 侑志	1	11時27分00秒	
81	順天堂大学	鯉沼 晴稀	1	11時27分30秒	
82	関西大学	小林 史弥	1	11時28分00秒	

第10回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 スタートリスト

普及レース大会 / スタートリスト クラス3

ゼッケン	チーム名	氏名	学年	スタート時刻	
101	東京大学	忠 鉢 信一	M1	11時45分00秒	
102	慶應義塾大学	高 橋 陽 輝	3	11時45分30秒	
103	朝日大学	大 城 朝 海	2	11時46分00秒	
104	関西大学	中 元 夢 来	3	11時46分30秒	
105	東北学院大学	坪 井 優 燈	1	11時47分00秒	
106	中央大学	熊 谷 海 飛	3	11時47分30秒	
107	東京大学	長 尾 春 輝	3	11時48分00秒	
108	慶應義塾大学	高 島 和 真	2	11時48分30秒	
109	立教大学	西 川 優 太	2	11時49分00秒	
110	朝日大学	兒 玉 晴 哉	2	11時49分30秒	
111	作新学院大学	澤 口 龍 馬	1	11時50分00秒	
112	法政大学	吉 田 朋 博	1	11時50分30秒	
113	東京大学	下 平 一 貴	3	11時51分00秒	
114	慶應義塾大学	吉 川 蒼 大	2	11時51分30秒	
115	同志社大学	沼 野 蒼 祇	2	11時52分00秒	
116	関西大学	山 田 唯 聖	1	11時52分30秒	
117	朝日大学	金 崎 大 輝	1	11時53分00秒	
118	大阪大学	井 上 和 真	2	11時53分30秒	
119	東京大学	高 木 そ ら	2	11時54分00秒	
120	慶應義塾大学	赤 羽 慶 亮	1	11時54分30秒	
121	立教大学	大 竹 広 高	2	11時55分00秒	
インターバル					
122	早稲田大学	大 野 宗 哲	2	12時05分00秒	
123	順天堂大学	堀 本 素 良	1	12時05分30秒	
124	中央大学	植 松 史 弥	4	12時06分00秒	
125	東京大学	山 川 大 輔	1	12時06分30秒	
126	慶應義塾大学	岩 月 太 郎	1	12時07分00秒	
127	同志社大学	鎌 田 郁 也	1	12時07分30秒	
128	関西大学	二 宮 芯 太	1	12時08分00秒	
129	朝日大学	佐 藤 綾 祐	1	12時08分30秒	
130	大阪大学	木 元 康 輔	2	12時09分00秒	
131	東京大学	高 角 康 河	1	12時09分30秒	
132	立教大学	大 竹 広 高	2	12時10分00秒	
133	慶應義塾大学	渡 邊 瑛 俊	1	12時10分30秒	
134	順天堂大学	山 本 率 輝	1	12時11分00秒	
135	早稲田大学	福 島 瑞 希	1	12時11分30秒	
136	同志社大学	高 石 眞 央	1	12時12分00秒	

ゼッケン	チーム名	氏名	学年	スタート時刻	
137	東京大学	住 吉 遙 仁	1	12時12分30秒	
138	関西大学	森 岡 玲 於 奈	1	12時13分00秒	
139	立教大学	貫 井 一 磨	1	12時13分30秒	
140	湘南工科大学	松 尾 幸 太 朗	1	12時14分00秒	
141	湘南工科大学	安 藤 誠 太	1	12時14分30秒	

立哨観察員・お知らせ看板 配置図及び指定PIT設置場所 (下流の折り返し地点から順番に表示しております 配置図1～8まで)

指定 PIT において



スペア車輪
(参加校)



スペア車輪
(学連)



立哨観察員
①別紙配置表通番



お知らせ看板
高さ180cm
幅38cm



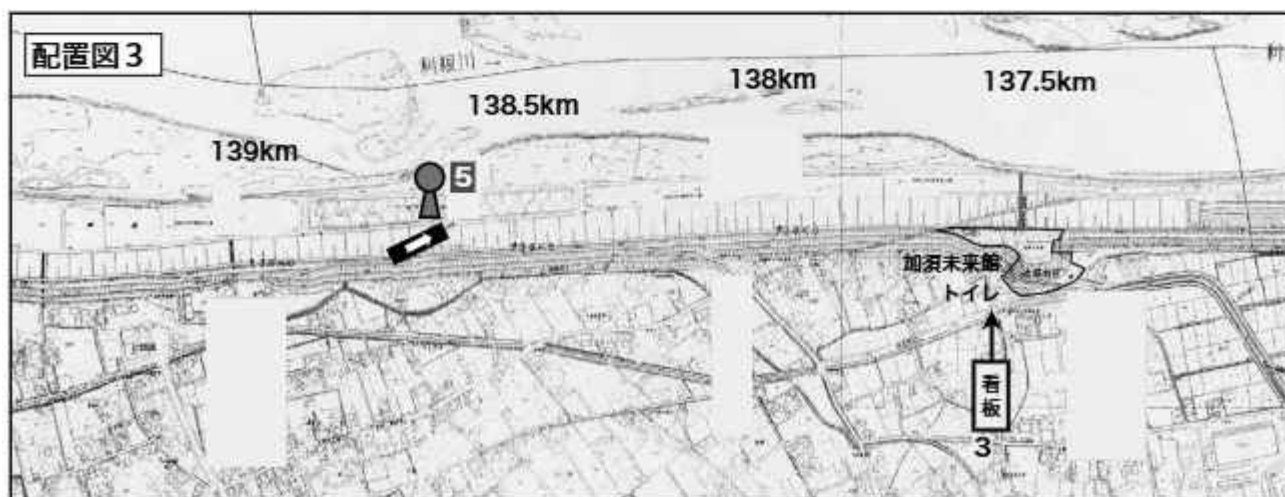
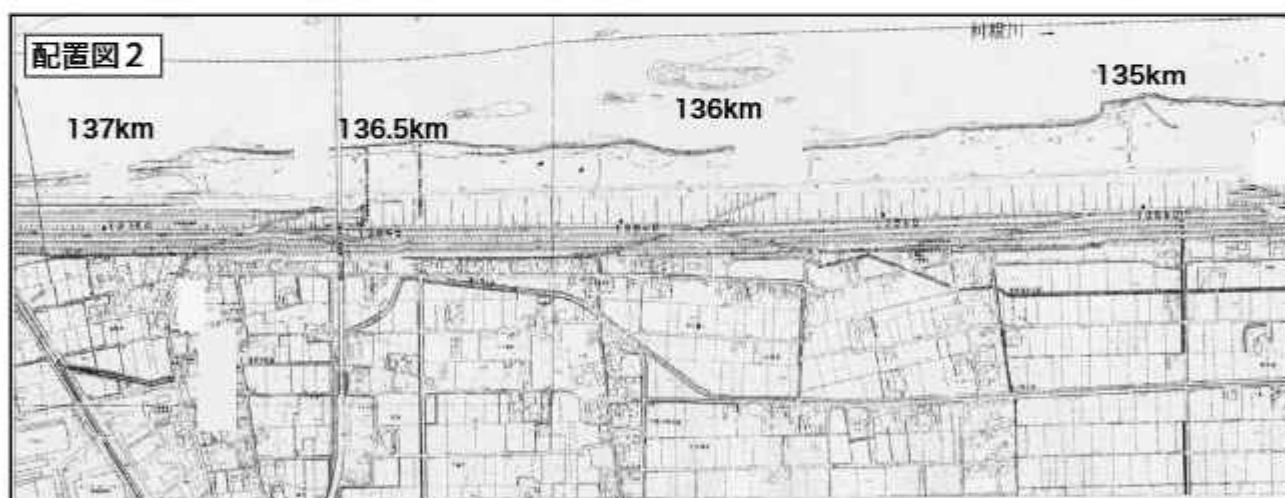
堤防土手から
の道路あり



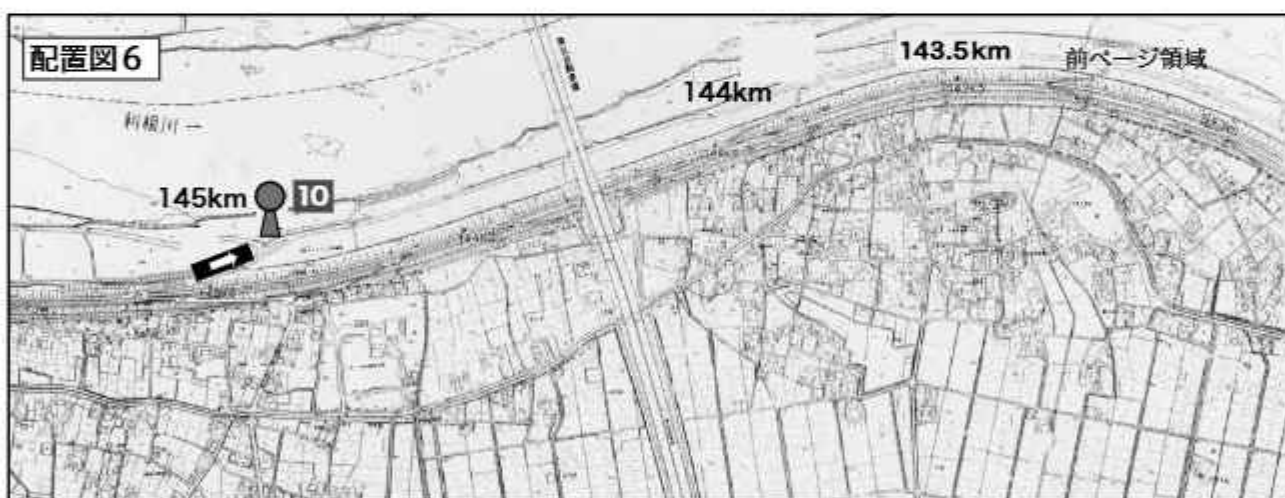
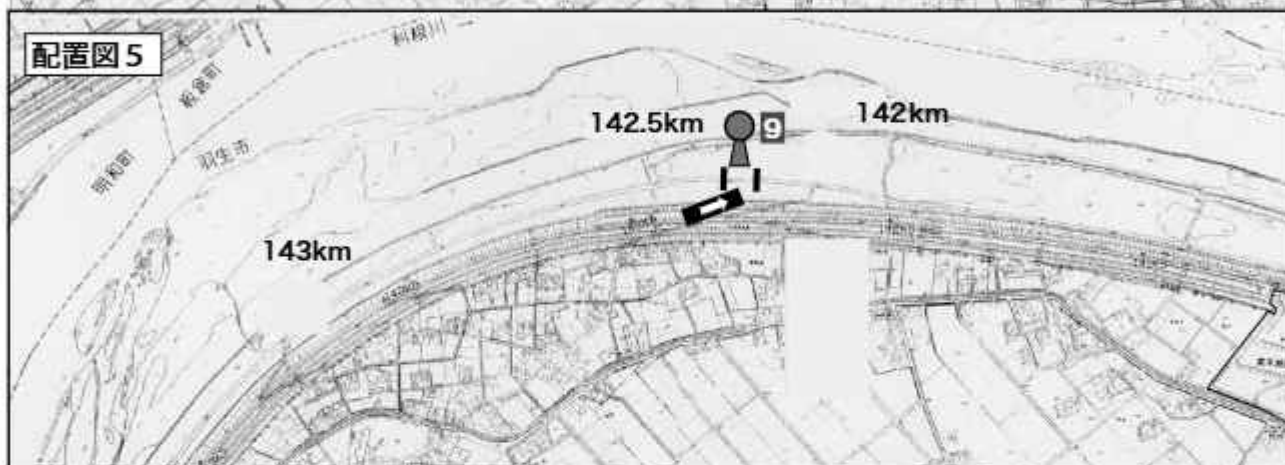
コースゲート
(試合中開門)

11月8日(土)・11月9日(日) 8時から17時
利根川河川敷内工事用道路にて自転車競技大会開催のため
堤防内側への横断が制限されますので、ご協力お願いいたします。

日本学生自転車競技連盟



立哨観察員・お知らせ看板 配置図及び PIT 設置場所



立哨観察員・スペア車輪(参加校・学連)・お知らせ看板 配置図



救急病院案内図

医療法人社団 弘人会中田病院

〒347-0065 埼玉県加須市元町 6-8

電話 0480-61-3122



全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会 歴代優勝チーム一覧

回数	開催日	開催地	距離	氏名	氏名	大学名	タイム
1	1962.10.7	八王子市 五輪コース	110km	赤松 俊郎	平山 忠宇喜	日本大学A	3:16'20"40
2	1963.3.22	八王子市 野猿峠	110km	佐藤 俊郎	班目 秀雄	日本大学A	7:35'03"85
3	1964.3.14	八王子市 加住周回	110km	高橋 耕次	高瀬 秀宏	日本大学A	7:14'55"80
4	1965.3.21	富士SW	84km	高橋 耕次	清水 弘裕	日本大学A	2:26'16"15
5	1966.3.26	秋多町	110km	高橋 耕次	久保 義春	日本大学A	3:09'59"90
6	1967.3.30	富士SW	90km	高橋 耕次	宗玄 清	日本大学A	2:36'22"30
7	1968.3.24	富士SW	90km	児玉 清俊	似内 健一	日本大学A	2:39'34"00
8	1969.3.28	富士SW	90km	三好 真人	長沢 義明	日本大学A	2:34'50"90
9	1970.11.18	富士SW	90km	早狩 嘉悦	児玉 清俊	日本大学A	2:26'29"40
10	1971.11.18	富士SW	90km	宗玄 清	似内 健一	日本大学A	2:27'48"90
11	1972.11.16	富士SW	90km	宮一 透	加藤 良太郎	日本大学A	2:26'44"50
12	1973.11.26	日本CSC	60km	宮一 透	葛西 新蔵	日本大学A	1:28'30"00
13	1974.11.11	富士SW	90km	阿部 正人	菅原 善恵	日本大学A	2:27'30"20
14	1975.11.10	富士SW	90km	宮一 透	入間川 勉	日本大学A	2:27'07"06
15	1976.11.15	富士SW	90km	阿部 正人	菅原 善恵	日本大学A	2:25'11"60
16	1977.11.7	富士SW	90km	長谷部 雅幸	佐藤 雄善	日本大学A	2:22'24"00
17	1978.11.6	富士SW	90km	阿部 正人	菅原 善恵	日本大学A	2:22'49"60
18	1979.11.5	富士SW	90km	林 正義	菊地 隆夫	中央大学A	2:16'59"26
19	1980.11.11	富士SW	90km	阿部 正人	杉田 典夫	中央大学A	2:15'39"13
20	1981.11.16	日本CSC	60km	菊地 隆夫	藤原 富美男	日本大学A	2:13'39"29
21	1982.11.11	日本CSC	60km	杉田 典夫	布田 英明	日本大学A	1:42'49" 00
22	1983.11.12	群馬CSC	90km	布田 英明	藤原 富美男	日本大学A	2:02'19"38
23	1984.11.10	群馬CSC	90km	杉田 典夫	小笠原 嘉	日本大学A	2:13'37"36
24	1985.10.5	群馬CSC	90km	小笠原 嘉	小笠原 敏晴	日本大学A	2:24'53"83
25	1986.10.25	日本CSC	60km	辺見 光次	菊地 和男	日本大学A	2:25'49"22
26	1987.10.4	千葉ニュータウン	92.5km	小笠原 義明	佐藤 昭	日本大学A	2:19'52"35
27	1988.10.2	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	96km	小笠原 義明	岡堀 勉	日本大学A	2:19'16"78
28	1989.10.22	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	100km	小笠原 義明	佐藤 昭	日本大学A	2:20'57"78
29	1990.10.28	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	小笠原 義明	岡堀 勉	日本大学A	2:17'43"32
30	1991.10.27	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	菅田 彰人	田村 剛男	日本大学A	2:20'14"11
31	1992.6.28	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	都甲 泰正	池浦 敏秋	早稲田大学	2:16'10"00
32	1993.6.13	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	前田 克己	市沢 保治	中央大学	2:05'49"23
33	1994.6.5	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	添田 広福	鬼塚 雅洋		
34	1995.6.25	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	岸原 広福	小松 浩		
35	1996.6.23	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	岸原 広福	小松 浩		
36	1997.6.22	秋田県大湯村 ソーラーズ・ライン	93.768km	岸原 広福	矢富 直樹		

全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会 歴代優勝チーム一覧

回数	開催日	開催地	距離	氏名	氏名	大学名	タイム
37	1998.6.13	秋田県大潟村 ソーラーステージ	93.768km	高橋 秀作 鈴木 信也	玉木 伸雄 坂本 信也	日本大学	2:03'02"39
38	1999.6.19	秋田県大潟村 ソーラーステージ	93.768km	高橋 秀作 佐藤 益尚	玉木 伸雄 坂本 信也	日本大学	2:03'28"17
39	2000.6.24	秋田県大潟村 ソーラーステージ	93.768km	高島 徹 岩本 晋也	鈴木 涼平 阿部 秀樹	中央大学	2:06'43"91
40	2001.6.23	秋田県大潟村 ソーラーステージ	93.768km	森 誠二 圓谷 崇	西谷 泰治 普久原 奨	日本大学	2:06'38"71
41	2002.6.22	秋田県大潟村 ソーラーステージ	93.768km	森 誠二 圓谷 崇	西谷 泰治 盛 一大	日本大学	2:07'45"06
42	2003.6.14	秋田県大潟村 ソーラーステージ	93km	小笠原 豪 普久原 奨	明珍 多久雄 盛 一大	日本大学	2:02'59"95
43	2004.6.12	秋田県大潟村 ソーラーステージ	93km	大野 涼太 高島 豪	小林 彰夫 檜原 稔明	中央大学	2:02'11"49
44	2005.6.11	秋田県大潟村 ソーラーステージ	93km	大野 涼太 高島 豪	小林 彰夫 長江 寿也	中央大学	2:01'17"16
45	2006.7.8	秋田県大潟村 ソーラーステージ	90km	立里 匡道 守澤 太志	根本 哲史 湯浅 徹	明治大学	2:00'54"27
46	2007.6.30	秋田県大潟村 ソーラーステージ	90km	内閣 康平 角 令央奈	伊藤 雅和 村上 純平	鹿屋体育大学	1:59'27"83
47	2008.6.28	秋田県大潟村 ソーラーステージ	90km	山本 寛洋 大庭 伸也	兼平 純 窪木 一茂	日本大学	1:59'57"85
48	2009.6.20	秋田県大潟村 ソーラーステージ	90km	堀内 俊介 石田 正樹	清水 一弘 郡司 昌紀	中央大学	1:59'00"27
49	2010.6.19	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	100km	伊藤 雅和 吉田 年人	内閣 康平 元喜 元喜	鹿屋体育大学	2:11'33"21
50	2011.6.4	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	100km	野中 竜馬 山本 元喜	野口 正則 徳田 鍛造	鹿屋体育大学	2:09'41"29
51	2012.6.2	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	94km	郡司 昌紀 高士 拓也	黒瀬 耕平 緑川 竣一	中央大学	2:01'56"64
52	2013.6.1	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	94km	山本 元喜 石橋 学	橋本 英也 原田 裕成	鹿屋体育大学	2:03'53"37
53	2014.5.25	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	62.4km	徳田 優 原田 裕成	徳田 鍛造 山本 大喜	鹿屋体育大学	1:17'01"65
54	2015.5.31	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	62.4km	山本 大喜 徳田 優	富尾 大地 山本 大喜	鹿屋体育大学	1:23'04"67
55	2016.5.28	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	62.4km	富尾 大地 原井 博斗	松本 恵斗 高橋 優斗	鹿屋体育大学	1:18'25"77
56	2017.6.3	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	63.2km	今村 駿介 直井 駿太	直井 駿太 今村 駿介	中央大学	1:17'14"20
57	2018.6.2	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	63.2km	奥村 十夢 小嶋 健太	山本 哲央 兒島 直樹	中央大学	1:17'19"76
58	2019.6.1	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	63.2km	片桐 東次郎 山本 哲央	飯屋 和駿 五十嵐 洸太	日本大学	1:18'46"73
59	2021.6.5	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	63.2km	中村 龍吉 金子 宗平	留目 夕陽 篠崎 蒼平	中央大学	1:16'19"97
60	2022.6.4	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	63.2km	吉田 頌 三宅 太生	長坂 和輝 大室 佑	東京大学	1:17'00"77
61	2023.6.3	台風の影響による前日の豪雨で、コースの一部及び選手用駐車場が水没したため大会開催中止					
62	2024.6.8	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	63.2km	伊藤 恭 三宅 太生	山下 虎ノ亮 大室 佑	中央大学	1:16'22"12

第 62 回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会

2024 年 6 月 8 日 (土) 埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷特設コース

主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟

1 位	中央大学	伊藤 恭	山下 虎ノ亮	三宅 太生	大室 佑	1:16'22"12
2 位	日本大学	岡本 勝哉	新井 敬太	森本 凜太郎	鎌田 晃輝	1:17'34"97
3 位	早稲田大学	山田 拓海	大仲 凜功	神村 泰輝	山里 一心	1:17'39"76
4 位	明治大学	林原 聖真	鈴木 滯	中川 挺太	辻 洸之介	1:18'36"42
5 位	順天堂大学	渡邊 和貴	塩出 皓成	菅原 聡	中島 壮琉	1:18'53"70
6 位	京都産業大学	矢萩 悠也	山田 潤	山口 順也	森田 叶夢	1:20'19"64
7 位	朝日大学	國吉 優希	細川 拓真	世古 眞太郎	加藤 弘喜	1:20'39"52
8 位	鹿屋体育大学	津留 峻	福迫 倅輔	並江 優作	廣田 汰也	1:20'40"99

全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 歴代男子優勝者一覧

回数	開催日	開催地	距離	氏名	大学名	タイム
(1)	1989.10.21	福島県西郷村公道	10km	住田 修	立命館大学	14'35"24
(2)	1990.10.27	福島県西郷村公道	10km	小端 康弘	新潟大学	15'28"29
(3)	1991.10.26	福島県西郷村公道	8km	岡本 健	日本大学	12'04"02
(4)	1992.6.27	福島県西郷村公道	8km	米内 浩司	日本大学	11'50"78
(5)	1993.6.12	福島県西郷村公道	8km	権丈 泰巳	日本大学	11'57"93
(6)	1994.6.5	福島県西郷村公道	8km	狩野 智也	法政大学	11'37"07
(7)	1995.6.24	福島県西郷村公道	8km	狩野 智也	法政大学	11'21"58
(8)	1996.6.22	福島県西郷村公道	8km	及川 進	日本大学	11'27"48
(9)	1997.6.22	大潟村ソーラースポーツライン	31.256km	林 雄生	早稲田大学	43'26"50
(10)	1998.6.14	大潟村ソーラースポーツライン	31.256km	坂本 信也	日本大学	42'53"88
(11)	1999.6.20	大潟村ソーラースポーツライン	31.256km	坂本 信也	日本大学	42'43"12
(12)	2000.6.25	大潟村ソーラースポーツライン	31.256km	清水 都貴	鹿屋体育大学	41'06"288
(13)	2001.6.24	大潟村ソーラースポーツライン	31.256km	清水 都貴	鹿屋体育大学	41'47"764
(14)	2002.6.23	大潟村ソーラースポーツライン	31.256km	明珍 多久雄	日本大学	42'05"653
(15)	2003.6.15	大潟村ソーラースポーツライン	31km	明珍 多久雄	日本大学	41'08"784
(16)	2004.6.13	大潟村ソーラースポーツライン	31km	小玉 齋明	北海道大学	42'00"940
(17)	2005.6.12	大潟村ソーラースポーツライン	31km	三瀬 光誠	鹿屋体育大学	42'14"429
(18)	2006.7.9	大潟村ソーラースポーツライン	30km	村上 純平	鹿屋体育大学	41'59"471
(19)	2007.7.1	大潟村ソーラースポーツライン	30km	太田 貴明	京都産業大学	40'26"001
(20)	2008.6.29	大潟村ソーラースポーツライン	30km	辻本 翔太	順天堂大学	40'14"042
(21)	2009.6.21	大潟村ソーラースポーツライン	30km	西園 良太	東京大学	40'57"911
(22)	2010.6.20	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	21km	西園 良太	東京大学	27'54"257
(23)	2011.6.5	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	33.2km	佐々木 龍	早稲田大学	41'25"462
(24)	2012.6.3	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	33.2km	安井 雅彦	東京大学	40'50"684
(25)	2013.6.2	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	30.8km	山本 元喜	鹿屋体育大学	39'45"507
(26)	2014.11.2	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	30.8km	山本 大喜	鹿屋体育大学	41'14"117
1 (27)	2015.6.7	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	30.8km	山本 大喜	鹿屋体育大学	41'24"260
2 (28)	2016.5.29	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	30.8km	池邊 聖	慶應義塾大学	40'42"347
3 (29)	2017.6.4	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	31.2km	山本 大喜	鹿屋体育大学	41'09"629
4 (30)	2018.6.3	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	31.2km	大前 翔	慶應義塾大学	40'00"152
5 (31)	2019.6.1	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	31.2km	今村 駿介	中央大学	39'33"546
RCS (32)	2020.11.15	加須市 利根川上流河川敷	13.0km	関根 論容	日本体育大学	16'53"645
6 (33)	2021.6.6	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	31.2km	留目 夕陽	中央大学	38'34"573
7 (34)	2022.6.5	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	31.2km	留目 夕陽	中央大学	37'42"034
8 (35)	2023.6.4	台風の影響による前々日の豪雨で、コースの一部及び選手用駐車場が水没したため大会開催中止				
9 (36)	2024.6.8	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	31.2km	伊藤 恭	中央大学	38'57"125

※回数の()内の数字は大会通算の回数です。

全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 歴代女子優勝者一覧

回数	開催日	開催地	距離	氏名	大学名	タイム
(1)	1989.10.21	福島県西郷村公道	女子参加者なし			
(2)	1990.10.27	福島県西郷村公道	10km	船水 雅子	早稲田大学	18'59"61
(3)	1991.10.26	福島県西郷村公道	8km	山本 明栄	中京大学	14'21"06
(4)	1992.6.27	福島県西郷村公道	8km	山本 明栄	中京大学	13'55"49
(5)	1993.6.12	福島県西郷村公道	8km	大場 貴子	中京大学	14'03"67
(6)	1994.6.5	福島県西郷村公道	8km	大場 貴子	中京大学	14'16"47
(7)	1995.6.24	福島県西郷村公道	8km	石本 倫子	関西大学	14'03"95
(8)	1996.6.22	福島県西郷村公道	8km	大場 美貴	中京大学	14'03"73
(9)	1997.6.22	大潟村ソーラースポーツライン	15km	大塚 歩	筑波大学	24'15"66
(10)	1998.6.14	大潟村ソーラースポーツライン	15km	大塚 歩	筑波大学	22'53"13
(11)	1999.6.20	大潟村ソーラースポーツライン	15km	大塚 歩	筑波大学	22'03"83
(12)	2000.6.25	大潟村ソーラースポーツライン	15km	大塚 歩	筑波大学	22'02"85
(13)	2001.6.24	大潟村ソーラースポーツライン	15km	中村 珠藻	順天堂大学	23'05"77
(14)	2002.6.23	大潟村ソーラースポーツライン	15km	中村 珠藻	順天堂大学	23'17"852
(15)	2003.6.15	大潟村ソーラースポーツライン	15km	中村 珠藻	順天堂大学	23'41"070
(16)	2004.6.13	大潟村ソーラースポーツライン	15km	宮崎 杏菜	鹿屋体育大学	23'38"146
(17)	2005.6.12	大潟村ソーラースポーツライン	15km	萩原 麻由子	鹿屋体育大学	23'04"830
(18)	2006.7.9	大潟村ソーラースポーツライン	15km	和田見 里美	中京大学	23'20"906
(19)	2007.7.1	大潟村ソーラースポーツライン	15km	石井 寛子	明治大学	23'03"232
(20)	2008.6.29	大潟村ソーラースポーツライン	15km	萩原 麻由子	鹿屋体育大学	21'47"764
(21)	2009.6.21	大潟村ソーラースポーツライン	15km	川又 千裕	鹿屋体育大学	22'31"305
(22)	2010.6.20	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	21km	明珍 裕子	朝日大学	32'40"770
(23)	2011.6.5	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	田中 まい	日本体育大学	35'49"876
(24)	2012.6.3	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	小島 蓉子	日本体育大学	37'41"272
(25)	2013.6.2	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	小島 蓉子	日本体育大学	37'32"947
(26)	2014.11.2	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	坂口 聖香	日本体育大学	39'00"178
1 (27)	2015.6.7	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	江藤 里佳子	鹿屋体育大学	39'04"736
2 (28)	2016.5.29	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	古山 稀絵	日本体育大学	38'13"533
3 (29)	2017.6.4	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	梶原 悠未	筑波大学	37'53"340
4 (30)	2018.6.3	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	福田 咲絵	慶應義塾大学	37'13"485
5 (31)	2019.6.1	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	福田 咲絵	慶應義塾大学	36'01"642
RCS (32)	2020.11.15	加須市 利根川上流河川敷	13.0km	鈴木 保乃華	法政大学	20'53"881
6 (33)	2021.6.6	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	渡部 春雅	明治大学	36'23"466
7 (34)	2022.6.5	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	岩元 杏奈	日本体育大学	36'14"740
8 (35)	2023.6.4	台風の影響による前々日の豪雨で、コースの一部及び選手用駐車場が水没したため大会開催中止				
9 (36)	2024.6.8	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	渡部 春雅	明治大学	36'47"039

※回数の()内の数字は大会通算の回数です。



加盟校・大会参加選手募集

あなたも母校のユニフォームを着てサイクル・レースを走りませんか？

詳しくは http://jicf.info/about_jicf/kamei_touki/ をご覧ください。

また、「全日本学生ロードレースシリーズ」では加盟前の学生でも参加可能なオープン参加部門を設けている大会も多数あります。同シリーズでは地元の協力により賞品多数。この機会にチャレンジを。

2025 年度日本学生自転車競技連盟「賛助会員」募集中

日本学生自転車競技連盟憲章並びに事業の主旨にご賛同頂ける「賛助会員」を募集しております。

入会資格、賛助会費額、入会方法等の詳細につきましては、

本連盟ホームページのサイト <https://jicf.info/18668/> からご確認ください。

尚、会員特典として以下の特典があります。

- (1) 本連盟主催大会会場にお越しの際に、大会プログラムをご用意いたします。
- (2) 本連盟主催大会プログラムへの会員名称の記載をいたします。
- (3) 本連盟が主催する講習会・シンポジウム・セミナー等への優先参加ができます。
- (4) その他諸種の情報サービスの提供を行います。

皆様のご入会をいつでも歓迎いたしますので、本連盟のホームページを一度ご覧ください。

賛助会員一覧

秋 田 謙	古 賀 岳 文	瀧 浪 勝 弥	本 間 滋
荒 川 和 宏	小 林 和 司	竹 内 功 臣	増 子 智 大
井 関 康 正	小 林 寛 和	武 田 彰	松 倉 信 裕
井 上 由 大	佐々木 一 也	野 崎 華奈子	村 岡 功 之
植 松 隼 人	塩 出 和 也	長谷川 哲 也	森 川 和 之
宇佐見 誠	鈴 木 俊 保	疋 田 啓 二	山 口 英 生
太 田 徹	鈴 木 芳 文	古 川 利 勝	山 崎 好 弘

<法人>

株式会社 Realize

2025 年 10 月 24 日現在（敬称略・50 音順）

賛助会員の皆様、ご協力ありがとうございます。

JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION

日本学生自転車競技連盟 JICF

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

ジャパンスポーツオリムピックスクエア408

TEL 090-2207-2369

FAX 03-6804-2329

E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp

URL: <https://jicf.info/>

製作・表紙：（有）荒井松文堂印刷所



FORMULA PRO

これが、チューブレス新基準。

転がるタイヤへの挑戦^{※1}

転がり抵抗

9.97% 減

※1 両モデル700X25C RBC使用
5代目フォーミュラプロ比/当社ラボ実験による

高耐久、高寿命を追求^{※2}

耐摩耗性

82% 増

※2 タイヤが完全摩耗するまでの期間の比較
5代目フォーミュラプロ比/当社ラボ実験による

Line-up サイズ展開 : 700 X 25C, 28C, 30C, 32C

RBCC

オールラウンド

全てにおいてバランスのとれた
スタンダードモデル

チューブレス (シーラント不要)



S-LIGHT

世界最軽量クラス

プロチームとの共同開発で生まれた
レーシングモデル

チューブレスレディ



X-GUARD

耐パンク性能抜群

乗り心地とロングライフを
両立したモデル

チューブレス (シーラント不要)





エアスピード シリーズ

日本ナショナルチームや国内プロチームも採用しているトップモデル



エアスピード ジャージ



エアスピード ビブパンツ



SPEED SENSOR® II

ロードバイクの有効速度域に特化して開発した空気抵抗軽減素材「スピードセンサー® II」風洞実験を繰り返し、レースの速度域で最も空気抵抗の軽減効果が高まる素材を、最も効果的な位置に採用。



3D-X

着用感の少ないフィット感と柔らかなクッション性を両立させた「3D-X」パッド。衝撃のかかる坐骨部分にエラストマーを採用し坐骨の底付を軽減。擦れの原因となるパッド肌面の折れや角をつくらないフラット設計。

パールイズミのオーダーウェア

トップアスリートも着用する高機能素材、発色の良いプリントで、チームの個性を生かしたオリジナルウェアを、パールイズミの専門スタッフが一緒に作り上げます。学生向け特別価格もご用意し、学生サイクリストを応援します。

株式会社パールイズミ オーダーサービス課
〒130-0026 東京都墨田区両国 2-4-2
TEL 03-3633-5461



オーダーサービスの
ページはこちら